

私学助成署名推進ニュース

全国私立学校教職員組合連合
No.20 2016年11月10日(木)

新潟の私学助成署名運動 父母・生徒とともに学園の外へ

私学助成すすめる会ニュース

子どもたちが学費を心配せず、学校で学べるように、私学の学費も無償に！

2016年11月8日

新潟県私学の公費助成をすすめる会
新潟市中央区弁天橋通 1-13-13
TEL 025-286-7600

新潟市内校へ私学助成署名協力要請

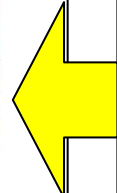
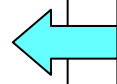
各学校の校長先生・副校長先生等と和やかに懇談

2日と4日の両日、「私学の公費助成をすすめる会」の中村会長、本田副会長(私学父母の会会長)、渡辺事務局長の三役は、新潟市内にある東京学館、北越、新潟第一、日本文理、清心女子の5校を訪問(訪問日時は、事前に連絡済み)し、私学助成に関する懇談をおこなうとともに、私学助成署名へのとりくみや「私学のひろば」への参加を要請しました。

懇談では、各学校とも校長先生や副校長先生等が対応され、なかには教頭先生や事務長さんも揃って同席される学校もありました。懇談の中で「すすめる会」は、資料をもとに、私学助成署名の数の力もあり学費助成制度の改善や経常費助成の増額がおこなわれていること、しかしまだ現状は学費の公私間格差が大きく保護者の学費負担は厳しい状況にあること、県や国に対する当面の私学助成制度改善の要望について説明しました。その上で、保護者、教職員などの思いや願いを行政に直接伝えられる有効な手段である私学助成署名に学校としてとりくんでほしいこと、今月20日に開催される「私学のひろば」への案内を保護者・教職員にしてほしいことなどを要請しました。

ある校長先生からは、「皆さん方のとりくみに、敬意を表します」との温かい言葉をいただきました。ほとんどの学校が出張等で校長先生が不在だったこともあり、「要請は校長にきちんと伝え、検討します」(副校長先生)との対応でしたが、懇談は終始和やかにおこなわれました。

父母とともに私学助成署名への協力を学校長へ要請に



イベント会場、ショッピングセンターは「私学助成」を県民に知らせる絶好の場所です

二地域で街頭宣伝を実施 私学助成署名への協力訴え、486筆を集約

署名運動終盤をむかえた10月29日、十一月三日に上越市と新発田市で私学助成署名の協力を市民に呼びかける街頭宣伝行動が、教職員や父母、卒業生らの参加でおこなわれました。両日ともあいにくの曇り空でしたが、行き交う市民に署名協力を呼びかけると、ほとんどの市民が署名に応じていました。二日間で集まった署名は四百八十六筆になりました。

上越地区

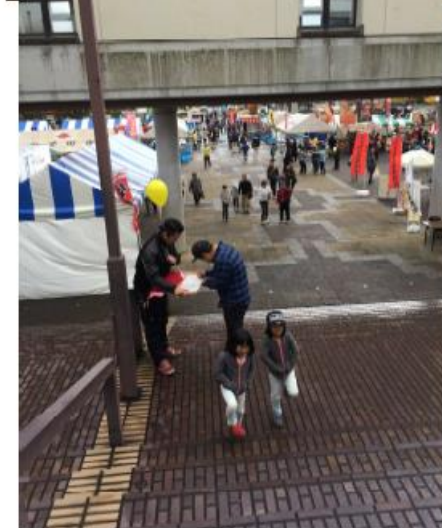
大型ショッピングセンターで

上越での宣伝行動には、関根と上越の教職員・父母、生徒ら十九人が参加し、買い物で行き交う市民一人ひとりに署名協力を呼びかけました。通りがかった卒業生や父母に声をかけると、懐かしそうに近寄り署名をしていく姿も見られました。約一時間の行動で、百五十六筆の署名を集約しました。

新発田地区

イベント会場で

新発田では、「全国うまいもん横町」開催の会場内で、新発田中央の教職員と父母、卒業生ら十人が参加して、署名への協力を呼びかけました。現在私立高校に子どもを通わせているお父さんは「私立は学費がまだ高い。負担が軽くなっただけで、快く署名に応じてほしい」と、家族分まとめて署名していき市民が多く、また一人で六十筆を集めた若手教員と父母の奮闘もあり、約一時間半の宣伝で三百三十筆の署名が集まりました。



「教育の未来を考えよう」～本田由紀さん&パネルディスカッション(パネラーに私立高校卒業生)

私学のひろば2016

教職員・父母みんな参加を!

■11月20日(日)13時開会 ■新潟ユニオンプラザ・多目的ホール

高校生作品展示、敬和学園・よさこいソーラン